コード理論メモ

ピアノ弾き語り練習を始めて、コードについて調べたメモを残す。

音名

「ドレミ…」は元々はイタリア語での発音。あとドイツ語もあるが省略。

音名	備考
ドレミファソラシ	イタリア語
□□□□□□□□	英語
ハニホヘ　トイロ	日本語

コード（和音）

３和音

□triad(トライアド)」とも呼ばれる。

記号	読み方	構成	備考
major,△	メジャー	長3度+短3度	基本形
m	マイナー	短3度+長3度	真ん中の音を一個左へ半音下げる
aug,#5,+5	オーグメント	長3度+長3度	右の音を半音上にずらす
dim,m♭5,m-5	マイナーフラットファイブ	短3度+短3度	mの右の音を半音下にずらす
sus4	サスフオ□,Suspended 4th		真ん中の音を一個右に半音上げる

- 長3度はその鍵盤を含んで5つ分 - 短3度はその鍵盤を含んで4つ分 - 1度の音程とはその鍵盤の事

４和音

記号	読み方	構成	備考
7	セブン	長3度+短3度+第7音 ＝長3和音+短7度	ルートの全音下の音を右に持っていき追加
m7	マイナーセブン	短3度+長3度+第7音 ＝短3和音+短7度	ルートの全音下の音を右に持っていき追加
M7	メジャーセブン	長3度+短3度+第7音 ＝長3和音+長7度	ルートの半音下の音を右に持っていき追加
dim7	ディミニッシュ・セブン	短3度+短3度+第7音 ＝減3和音+減7度	mの右の音を半音下と全音上に分裂
m7♭5	ハーフ・ディミニッシュ		dim7の右の音を半音上げる m7の第5音を半音下げる
6	シックス		右の音の全音上の音を追加
add9	アドナイン		ベースの全音上の音を加える

スケール（音階）

メジャースケール

長音階（Major Scale）

```
□□□□□□□
 全全半全全全半
```

- - -

マイナースケール

短調では通常「自然短音階」を基本として考えるが、実際の音楽作品では「和声短音階」が多い。又、変化は調号ではなく臨時記号で表す。

自然短音階（Natural Minor Scale）

```
□□□□□□□
 全半全全半全全
```

和声短音階（Harmonic Minor Scale）

自然短音階から7番目を#

```
□□□□□□　　□
 全半全全半増2度半
```

旋律短音階（Melodic Minor Scale）

自然短音階から6番目と7番目を#

```
□□□□□□□
 全半全全全全半
```

ダイアトニックコードスケール

メジャーダイアトニックコード

Cメジャーの例

三和音

```
C   Dm  Em  F   G   Am  Bm-5
□□□ □ □   □ □□□
□       □   □□□□□□□□ □□□主要三和音
   □ T        □   □
```

- I□C□ IV□F□ V□G□を主要三和音とよび、その他を副三和音と呼ぶ。 - V□G□の和音は通常は“ 7thコード ”を使う。□Cメジャーの例では□G7□ - I□C□は主和音と呼ばれ調のリーダ、どのコードへも進行できる□ - IV□F□はI□C□へもV□D□へも進行できる□ - V□G□はI□C) or VI□Am□のみに進行する。（「ドミナントモーション」と言う） - II□Dm□は必ずV□G□へ進行する。（「ツーファイブ」と呼ぶ）

四和音

```
CM7   Dm7   Em7   FM7   G7    Am7   Bm7♭5
```

- - -

マイナーダイアトニックコード

Cマイナーの例

ナチュラルマイナー　三和音

```
Cm   Dm♭5   E♭   Fm   Gm   A♭   B♭
```

ハーモニックマイナー　三和音

```
Cm   Dm♭5   E♭aug   Fm   G   A♭   Bm♭5
```

メロディックマイナー　三和音

```
Cm   Dm♭5   E♭aug   F   G   Am♭5   Bm♭5
```

ナチュラルマイナー　四和音

```
Cm7   Dm7♭5   E♭M7   Fm7   Gm7   A♭M7   B♭7
T       S       T      S      D     T       D
```

- ○m7 ○m7♭5 ○M7 ○m7 ○m7 ○M7 ○7

ハーモニックマイナー　四和音

```
CmM7  Dm7♭5  E♭M7+5  Fm7  G7  A♭M7  Bdim
T       S      T       S    D    S      D
```

- ○mM7 ○m7♭5 ○M7+5 ○m7 ○7 ○M7 ○dim

メロディックマイナー　四和音

```
CmM7  Dm7  E♭M7  F7  G7  Am7♭5  Bm7♭5
T      S    T     S   D    T        D
```

- ○mM7 ○m7 ○M7+5 ○7 ○7 ○m7♭5 ○m7♭5

コード進行

第１カデンツ□T-D-T

Ex□C G C,
□□C G Am, Am G C, Am G Am

第２カデンツ□T-S-D-T

Ex□C F G C,
□□C Dm G C, C Dm G Am, Am F G C

第３カデンツ□T-S-T

「アーメン終止符」と呼ばれる。

I□IV□□IV□I のパターンのみ
Ex□C F C, Am F C

連用

トニック、サブトニックのコードを続ける使い方を「連用」と呼ぶ。

Ex□C Am F Dm G C
□□□□□□

- トニックの連用では<I→VI>の進行は○□<VI→I>の進行は×
Ex□C→Amは○□Am→Cは× -サブドミナントの連用では<IV→II>の進行は○□<II→IV>の進行は×
Ex□F→Dmは○□Dm→Fは×

ドミナントの可能性

□とⅦを結合させた□□7□で、ドミナントがパワーアップ。
□の代わりに□7thがよく使われる。

Ex□G + Bm-5 → G7

単語・用語

- diminish□減らす、縮小する - augment□増加させる、増大する - suspend□つるす、つり上げる - Tonic□主音、安定□□Tと表記□ - Sub Dominant□発展する、やや不安定□□Sと表記□ - Dominant□支配する、不安定□□Dと表記） - 導音：第7音のこと。主音に導く音。 - ボイシング：コード（和音）の構成音の並べ方

参考

---

1. ミュジオリー音楽理論 2. ドレミファソラシドをアルファベットで覚えよう！

From:
https://yokoweb.net/dokuwiki/ - 新石器Wiki

Permanent link:
https://yokoweb.net/dokuwiki/music/code-memo?rev=1497790320

Last update: **2017/06/18 21:52**